

合格体験記

氏 名:

担任講師: 吉野、横山、古川 先生

在籍校舎: 板橋 校

進学先

都立 三田 高校

その他
合格校

淑徳巣鴨 (プレミアム)、順天 (特進選抜)

*入試に役立った先生のアドバイス・勉強方法や、合格につながった体験・エピソード等を書いてください。

僕は、都内の私立中高一貫校に通っていましたが、そのまま高校へ内部進学するのが楽であり一般的なのですが、3年生の11月の最終面談で外部受験することを決めました。なぜかというところ、そのままぐらぐらと内部進学することに対して、将来、大学進学に向けて不安を抱いたことと、更に頑張らねばとチャレンジする意欲が目芽えたからです。いきなりの受験決定に関して、両親は最初は反対したものの、僕の熱意と意欲に賛成してくれて頑張れと言ってくれました。大変有難かったです。それが僕には都立上位校を目指す残りわずか3ヶ月を一生懸命頑張ることになりました。そこで中学受験の時に世話になった稲門学舎板橋校に入塾させていただくことにしました。正直、他の塾を検討しましたが、吉野太郎先生はじめ、慣れ親んだ先生に教わるのが一番の近道で、他の塾とは違い、より親身に教えていたたけろと思い、稲門学舎板橋校に決めたのです。11月に入塾して、まずはゴールまでの残り3ヶ月をどのように計画を立てていくかを室長先生と相談しながら決めていくことにしました。11月の1ヶ月は数学と英語の総復習と苦手分野に取組み、12月は内申点を維持、LPさせる為に定期テスト対策を中心に取組むことにし、12月の定期テスト明けからは数学・英語を中心に都立高校の過去問やMARCH附属高校の過去問を時間を測りながら挑戦しました。特に国語は模試で水準レベルの得点が取れていたもので、不安はありませんでしたが、時間をない為、特にこれと決めた対策はしませんでした。理科、社会については、塾の自習時間をフルに活用して、学校で使っていた、

要点まとめと問題集が1冊になつている物を
 集中して暗記するようにしました。正月から
 は、計画していた過去問を中心に取組みまし
 たが、問題によっては添教に波があり、正直
 不安な気持ちでいっぱいになりました。そん
 な時に間違った問題を塾の先生に丁寧に解説
 していただき、同じ間違いはしないように心
 掛けました。おかげでまず、第一志望である
 三田高校に合格することが出来ました。無理
 を言って悩ませた両親にも感謝でき、この
 短期間で合格するレベルまで引き上げていたた
 いた稲門学園の先生方にも大変感謝しており
 ます。
 最後に、この短い期間で困難と思われれる高
 校受験を自分の意志で決め、努力し、合格を
 勝ち取れたことに大変満足しています。